

令和5年度指導教諭による「授業力アップ講座」①②

本年度も指導教諭の優れた授業及び解説・講話、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、2つの授業力アップ講座を紹介します。

8月28日(月) 奥州市立水沢南小学校
第5学年 算数:図形の角「図形の角を調べよう」

授業者 高橋 美樹子 先生

提案授業

前時までに学んだ「三角形と四角形の内角の和」に着目して、多角形の内角の和の求め方を考える授業でした。話しやすい雰囲気の下、様々な考えが出されました。

自力解決の場面では、補助線を入れた図形を提示して「式ができる人？」と問いかけたり、式を提示して「どのように線を引いたか分かる？」と尋ねたりして、児童が思考過程を言葉で説明できるように導いていました。



研究協議

全体交流の時間は、最初に自力解決が途中の児童から発表をさせ、その児童の説明に、周りの児童が付け足していく形でゴールを目指していく進め方がよかったという話題が出されました。



まちがいやつまずきから思考させ、学びを深めていく事の大切さを学ぶ事ができました。

👉 高橋先生の授業から学ぶ 算数の授業のポイント!

- ◆必然性のある学習活動を取り入れること
- ◆本時に身につけさせたい資質・能力から発問を考へること→「発問の精査」

参加者の声(一部抜粋)

- ・児童の発言をつないで授業を展開していくことを今後自分自身の授業でも実践していきたいです。また、板書には子どもの思考がきちんと分類されており、一目見た時に思考の流れが分かるので学びが深まっていました。
- ・子ども達の考えをたくさん取り入れ、その考えの中からたくさんの気づきを発見させようとする先生の姿が大変素晴らしかったです。

9月4日(月) 奥州市立水沢小学校
第6学年 外国語:Unit4 Summer Vacations in the World

授業者 千葉 道子 先生

提案授業

担任と外国語専科による会話を聞かせることで、本時の課題が明確になっただけでなく、学級の雰囲気が一気に明るくなりました。また、グルメ番組のインタビューを受けるという場面設定が児童の興味関心を引き、「話してみたい」という意欲を高めることに繋がっていました。

児童が、グルメリポーターと旅行者となり、ペアを変えながら、相手との会話を行う中で、よいやり取りを全員で共有したり、困り感を全員で考え解決したりと、やり取りを楽しむための手立てが十分にとられていました。



研究協議

会話を目的を明確にするための材料として、「場面や状況」「伝える相手」等が挙げられ、児童の相手意識や会話のイメージをふくらませることが大切であることを学ぶ事ができました。

また、学習のゴールを児童と共有しているため、児童の振り返りが具体的で、次の学習にもつながっていることがよかったという話題が出されました。

👉 千葉先生の授業から学ぶ 外国語の授業のポイント!

- ◆「何を教えて、何を身につけさせるか」ゴールを明確にすること
- ◆児童の知りたいことを考えさせ引き出すこと

参加者の声(一部抜粋)

- ・改めて、相手意識・目的意識の重要性を感じました。しっかりとした場面・状況設定をすればこそ、この英語を使おうと必要性をもって学ぶ事ができるのだと思いました。
- ・子ども達がとても楽しそうにペアワークに取り組んだり、「何て言えばいいんだろう」と考え合ったりする姿が印象的で、いつも子ども達に「言いたい」「伝えたい」と思わせる授業を作っているのだと思いました。